



2023年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社サーキュレーション
代表者名 代表取締役社長 福田 悠
(コード：7379、東証グロース)
問合せ先 代表取締役副社長 山口 征人
(TEL. 03-6256-0476)

(訂正・数値データ訂正)
「2023年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、2023年9月13日に公表いたしました「2023年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」について、記載内容の一部に訂正がありましたのでお知らせいたします。また、訂正後の数値データも併せて送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」開示後に、キャッシュ・フロー計算書の表示項目に数字の入力誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

なお、本訂正による貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書への影響はございません。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

<サマリー情報(1ページ)>

1. 2023年7月期の業績(2022年8月1日～2023年7月31日)

(3)キャッシュ・フローの状況

[訂正前]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	<u>386</u>	<u>△22</u>	9	2,643
2022年7月期	283	△66	△945	2,269

[訂正後]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	<u>381</u>	<u>△17</u>	9	2,643
2022年7月期	283	△66	△945	2,269

<添付資料（3ページ）>

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

[訂正前]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、386,812千円の収入となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益569,726千円、減価償却費 35,620千円、賞与引当金 32,627千円の増加、前代表からの受取補填金 60,000千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額 164,366千円、未払金 100,793千円の減少、前代表退任に伴うクライシス対応費用に係る支出 32,733千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、22,277千円の支出となりました。

支出の主な内訳は、経営管理の高度化を目的としたBI構築に係る無形固定資産の取得による支出18,849千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,702千円の収入となりました。これは、ストックオプションの行使による収入9,702千円であります。

[訂正後]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、381,941千円の収入となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益569,726千円、減価償却費 35,620千円、賞与引当金 32,627千円の増加、前代表からの受取補填金 60,000千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額 164,366千円、未払金 105,665千円の減少、前代表退任に伴うクライシス対応費用に係る支出 32,733千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17,405千円の支出となりました。

支出の主な内訳は、経営管理の高度化を目的としたBI構築に係る無形固定資産の取得による支出17,268千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,702千円の収入となりました。これは、ストックオプションの行使による収入9,702千円であります。

<添付資料 (11ページ)>

3. 財務諸表及び主な注記

(4) キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	528,575	569,726
減価償却費	25,551	35,620
敷金償却額	1,540	248
株式報酬費用	-	5,546
受取補填金	-	△60,000
クライシス対応費用	-	57,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,952	△3,289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,419	32,627
受取利息	△19	△21
支払利息	1,366	147
固定資産除却損	-	2,043
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,945	△34,171
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,758	△220
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,201	13,811
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,120	23,089
未払金の増減額 (△は減少)	114,257	△100,793
その他	△4,675	△18,193
小計	558,508	523,974
利息及び配当金の受取額	19	21
利息の支払額	△1,084	△83
法人税等の支払額	△274,237	△164,366
補填金の受取額	-	60,000
クライシス対応費用の支出	-	△32,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,205	386,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,589	△2,034
無形固定資産の取得による支出	△44,935	△18,849
敷金及び保証金の差入による支出	△2,950	△5,399
敷金及び保証金の回収による収入	-	4,006
長期前払費用の取得による支出	△13,080	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,556	△22,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△846,668	-
ストックオプションの行使による収入	11,537	9,702
上場関連費用の支出	△9,897	-
自己株式の取得による支出	△100,690	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△945,718	9,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△729,069	374,238
現金及び現金同等物の期首残高	2,998,360	2,269,291
現金及び現金同等物の期末残高	2,269,291	2,643,529

[訂正後]

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	528,575	569,726
減価償却費	25,551	35,620
敷金償却額	1,540	248
株式報酬費用	-	5,546
受取補填金	-	△60,000
クライシス対応費用	-	57,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,952	△3,289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,419	32,627
受取利息	△19	△21
支払利息	1,366	147
固定資産除却損	-	2,043
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,945	△34,171
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,758	△220
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,201	13,811
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,120	23,089
未払金の増減額 (△は減少)	114,257	△105,665
その他	△4,675	△18,193
小計	558,508	519,103
利息及び配当金の受取額	19	21
利息の支払額	△1,084	△83
法人税等の支払額	△274,237	△164,366
補填金の受取額	-	60,000
クライシス対応費用の支出	-	△32,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,205	381,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,589	△1,495
無形固定資産の取得による支出	△44,935	△17,268
敷金及び保証金の差入による支出	△2,950	△2,649
敷金及び保証金の回収による収入	-	4,006
長期前払費用の取得による支出	△13,080	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,556	△17,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△846,668	-
ストックオプションの行使による収入	11,537	9,702
上場関連費用の支出	△9,897	-
自己株式の取得による支出	△100,690	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△945,718	9,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△729,069	374,238
現金及び現金同等物の期首残高	2,998,360	2,269,291
現金及び現金同等物の期末残高	2,269,291	2,643,529

以 上